

CONTENTS

2003

3

土と基礎

Vol.51 No.3 Ser.No.542

地盤工学会誌

複写をされる方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会
電話 03-3475-5618 FAX 03-3475-5619 E-mail: naka-atsu@muji.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: (978) 750-8400 FAX: (978) 750-4744

口絵写真	地震動に対する地盤や構造物の耐震技術 臨海部の被害予測システム 薬液浸透注入工法による既設構造物直下の液状化対策技術～水平方向現地注入実験結果～ 既設構造物直下地盤の液状化対策—浸透固化処理工法— レベル2 地震動に対する杭基礎構造物の液状化対策技術 前方斜杭式栈橋（土留め一体構造）と免震コンテナクレーンの地震時挙動に関する模型振動実験 高耐力マイクロパイル工法を用いた既設基礎の耐震補強 国際シンポジウム「沿岸域の軟弱地盤工学」—The Nakase Memorial Symposium—開催報告 液状化メカニズム・予測法と設計法
------	--

小特集テーマ：飛躍する耐震技術—実務への適用—

論文	地震動に対する地盤や構造物の耐震技術 1 ●竹宮 宏和 臨海部の被害予測システム 4 ●高橋 宏直／一井 康二／野津 厚／赤倉 康寛／小堤 治 原位置凍結試料を用いた洪積砂層の液状化強度特性 7 ●斉藤 賢二／牛垣 和正／福元 俊一／仙頭 紀明 薬液浸透注入工法による既設構造物直下の液状化対策技術 10 ～水平方向現地注入実験結果～ ●大野 康年／北川 英雄／吉富 亮太／小山 忠雄／島田 俊介／米倉 亮三 既設構造物直下地盤の液状化対策—浸透固化処理工法— 13 ●河村 健輔／善 功企／山崎 浩之／林 健太郎 レベル2 地震動に対する杭基礎構造物の液状化対策技術 16 ●萩原 敏行／新井 寿昭／庄司 正弘／内山 不二男 埋立地に建つ大規模免震建物を支持する格子状基礎 19 ●斉藤 賢二／田所 宏章／栗本 修／茶谷 文雄 前方斜杭式栈橋（土留め一体構造）と免震コンテナクレーンの 地震時挙動に関する模型振動実験 22 ●菅野 高弘／塩崎 禎郎／池上 正春 高耐力マイクロパイル工法を用いた既設基礎の耐震補強 25 ●岸下 崇裕／池水 富美矢／斉藤 悦郎／畑野 俊久 ジオグリッドによる堤防の地震時変形抑止効果 28 ●佐々木 康／加納 誠二／辻 誠治 液状化現象を逆手に取った地盤免震技術 31 ●福武 毅芳
----	---

ISOだより	第36回 第6回 ISO/TC182/SC1 会議出席報告 34 —ISO 14688（土の判別と分類）について— ●地盤工学会 ISO 検討委員会 Q & A コーナー 粘土の一軸圧縮試験結果のばらつき評価について 36 ●田中 洋行 ニュース 国際シンポジウム「沿岸域の軟弱地盤工学」 —The Nakase Memorial Symposium—開催報告 37 ●土田 孝／渡部 要一 第23回地盤工学若手セミナー開催される 40 ●渦岡 良介／仙頭 紀明／若井 明彦 講座 土の構造とメカニックス—マイクロからマクロへ— 7. 講座を終わるにあたって 41 ●村上 章 液状化メカニズム・予測法と設計法 8. 液状化を考慮した地盤構造物の設計法 43 ●松尾 修／山崎 浩之／関口 宏二 移流分散解析入門 49 8. オイラリアン・ラグランジアン法による移流分散解析 ●菱谷 智幸 学会活動 から 地盤工学会継続教育（G-CPD）制度 本格運用にむけて（その3） 54 ●地盤工学会継続教育実施委員会 「ワークショップ 大深度地下利用における地盤および構造物の調査・計測技術」報告 55 ●地盤工学会施工中の調査・計測技術に関する検討委員会 論文報告 集の紹介 「地盤工学会論文報告集」Vol. 43, No. 1 （2003年2月発行）掲載論文の概要 59
--------	---

近着の市販雑誌から、新入会員 61 編集後記 62
--